

# 野生鳥獣がら集落を守る!

～アライグマ・ハクビシン・タヌキ編～



(平成19年8月鳴門市にて捕獲されたアライグマ)

ハクビシン、タヌキによる農作物被害の報告は、以前からありましたが、近年、アライグマによる被害が疑われる事例が多く報告されています。

被害の痕跡が、ハクビシンやタヌキ、またはカラスによるものと似ているため、これまでアライグマの仕業と判別されていなかったと思われます。

アライグマは、北アメリカ原産の動物で、テレビアニメの人気により多くの個体がペットとして輸入されましたが、成獣を飼いきれなくなって野外に放されたり、飼育檻から逃亡し、野生化しています。

野生化したアライグマは、繁殖力が旺盛で天敵もいないため全国的に増加し、農作物被害、生活被害が発生し、問題となっています。

徳島県では、アライグマによる農作物被害は確認されてはいないものの、平成12年以降、捕獲実績、目撃情報があり、野外での自然繁殖も確認されています。

県内では、次の地域で捕獲されています。(平成21年12月現在)

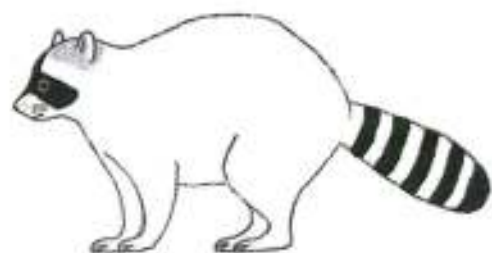
鳴門市北灘町、鳴門市大津町、吉野川市山川町、阿波市阿波町、板野町

# アライグマ、ハクビシン、タヌキの見分け方

ア  
ラ  
イ  
グ  
マ



ネコ目アライグマ科 体長60~100cm  
夜行性  
雑食性



尾にリング模様



耳のふちは 白い

ハ  
ク  
ビ  
シ  
ン



ネコ目ジャコウネコ科 体長90~100cm  
夜行性  
雑食性



尾が長い



顔の真ん中に白い線

タ  
ヌ  
キ



ネコ目犬科 体長60~75cm  
夜行性  
雑食性



前足から肩にかけて黒い帯  
犬科動物なので脚はまっすぐ下に伸びている



耳のふちは 黒い

足跡  
後ろ 前

被害の特徴

アライグマ



指は5本で細長い  
手先が器用



トウモロコシ  
真横に倒してきれいに食べる



果樹は、樹についた状態で  
上から被害



スイカは500円玉程度の穴をあけ、手を入れて中身を食べる

ハクビシン



指は5本  
後ろ肢で木にぶら下がる。



トウモロコシ  
斜めに倒してきれいに食べる



果樹は、樹についた  
状態で下から被害



ブドウは袋の肩から  
下に向けて破る。



スイカは頭をつっこんで  
食べるので穴が大きい

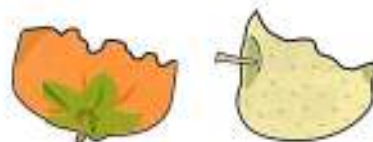
タヌキ



指は4本で犬に似ている



トウモロコシ  
真横に倒すが、地面に接した部  
分は食べない



主に落下したものを食べる

## 農作物被害対策

### ① よく観察してみましよう

作物被害の痕跡や足跡など、被害現場をよく観察しましょう。  
アライグマ等によるものでは、と疑ってみましよう。

アライグマが捕獲されている地域（平成21年12月現在）

鳴門市北灘町、鳴門市大津町、吉野川市山川町、阿波市阿波町、板野町

### ② ほ場が「エサ場」にならないようにしましよう

ほ場に、収穫物の残渣を捨てないようにしましよう。  
電気柵により、ほ場への侵入を防ぎましよう。

### ③ ねぐらを作らせないようにしましよう

「エサ場」に近いところに「ねぐら」を作る習性があります。  
人家の屋根裏や、神社仏閣など人の出入りが少ない建物、また、剪定枝の野積みなどが「ねぐら」になっています。  
「ねぐら」と思うものを発見した場合は、つぶしておきましよう。

※アライグマ等を許可無く捕獲することは禁止されています。  
発見した場合は、お近くの市町村役場へご相談ください。

## アライグマの注意点

- ① 庭の池のコイ・金魚を襲うことや、ペットのエサ、生ゴミなどをあさることがあります。
- ② 人獣共通の感染症である「狂犬病」「アライグマ回虫症」などを媒介する恐れがありますので、野生のアライグマには絶対に素手で触らないようにしてください。
- ③ 成獣になると気性が荒く、引っかいたり、噛みつくこともあります。噛まれるなど被害に遭った場合は、医師にご相談ください。

問い合わせ先